

# 次期森林計画についての森林管理署の検討方向 (大分西部森林計画区)

## － 目 次 －

### 1. 現行計画の概要

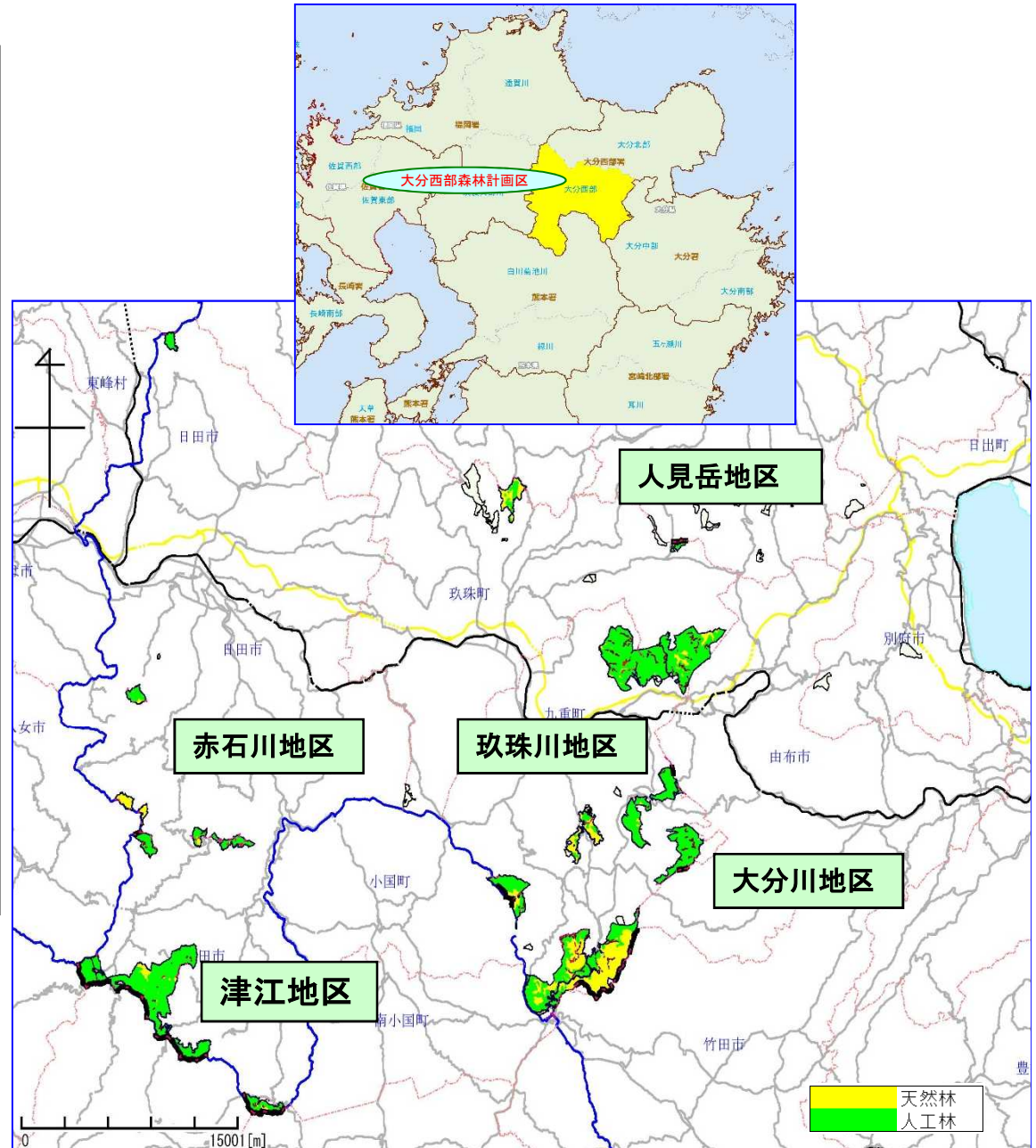
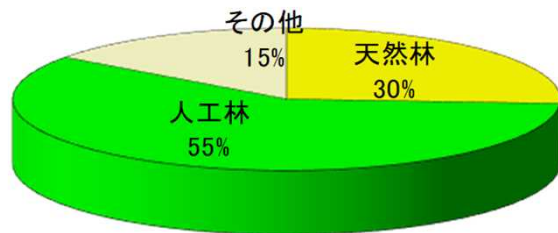
- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国有林野の活用に関する事項
- (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

### 2. 次期計画の検討方向

大分西部森林管理署

# 1. 現行計画の概要(平成30年4月1日～令和5年3月31日)

- ・大分西部森林計画の対象は、大分県北西部の筑後川源流部に位置し、玖珠川、赤石川、大分川、人見岳、津江の各地区からなる国有林野7,829haです。
- ・国有林野面積は、計画区内の全森林面積の9%にあたり、人工林が主体(55%)を占めています。
- ・水源かん養保安林は、国有林野全体の92%に達し、下流の筑後平野及び福岡都市圏の水がめとして重要な役割を担っています。
- ・くじゅう連山一帯の国有林野は登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。



## (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

### ① 機能類型に応じた管理経営

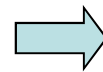
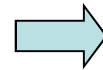
国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分	機能区分の考え方	目指すべき森林の姿	面積(ha)
山地災害防止 タイプ	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林	936
自然維持 タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林	542
森林空間利用 タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林	1751
快適環境形成 タイプ	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林	
水源涵養 タイプ	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮	4600

## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ① 多様な森林づくりの推進

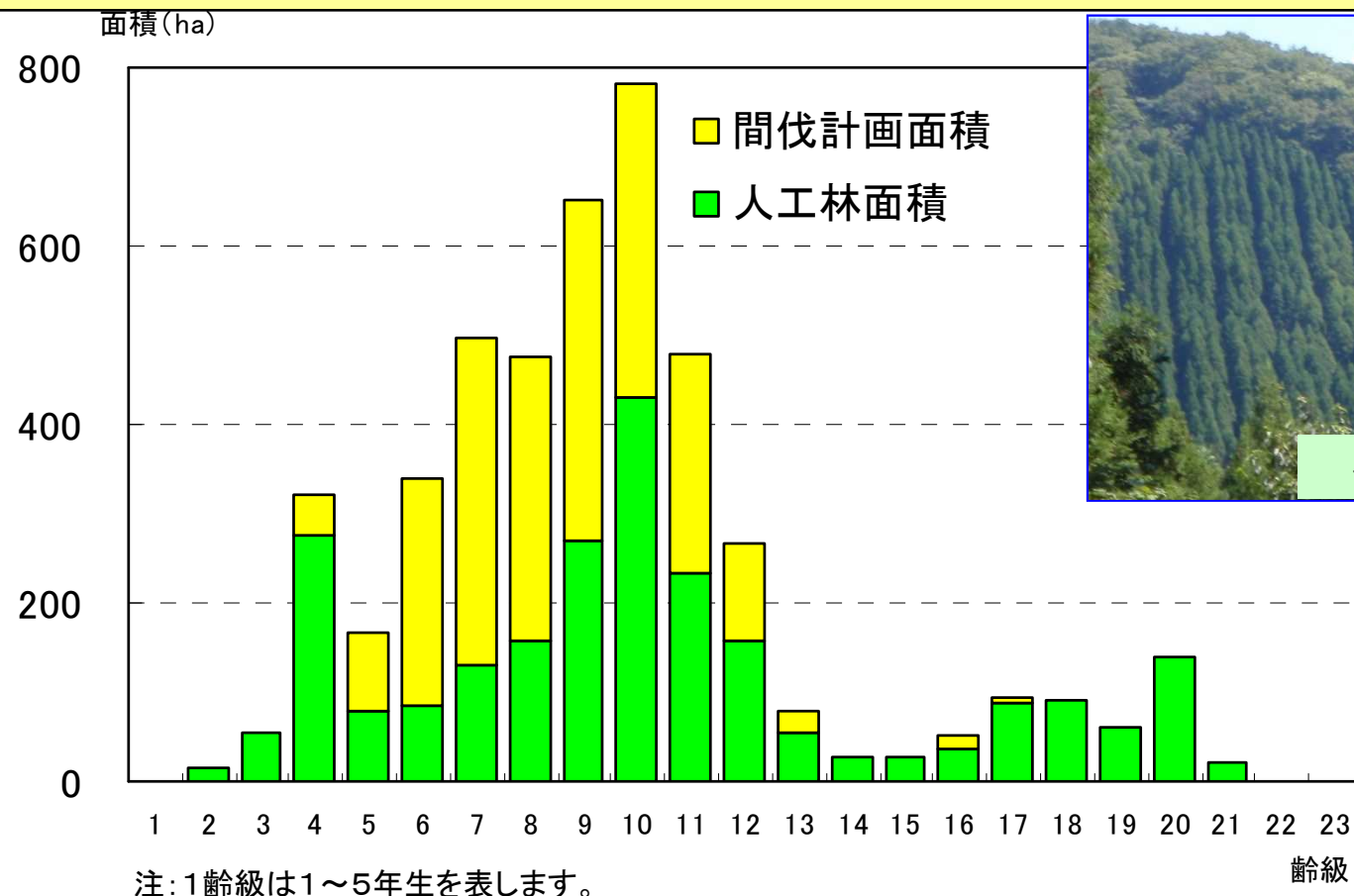
本計画区の国有林野は、筑後川などの源流部に位置し公益的機能の高度発揮が求められることから、適切な保育、間伐を進めるとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期施業に取り組んでいます。



## ② 間伐を通じた地球温暖化防止の推進

本計画区の人工林の面積は約4,326haで、間伐対象となる16年生から60年生の人工林の面積は約3,487ha（人工林面積の81%）です。

また、現行計画（H30年度～令和4年度）では間伐を約1,852ha計画しており、森林吸収原対策のためにも間伐を推進しています。



### ③ 保護林の適切な保全・管理

本計画区の貴重な自然環境を有する天然林等について、保護林を設定し適切に保護・保存を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
希少個体群保護林	権現岳	シオジ、ケヤキ、ブナ等を主体とした天然林	70
	兵戸山	モミ、アカシデ、ミズナラ等を主体とした天然林	8



#### ④ 安全・安心の確保に向けた治山対策の展開

山地に起因する災害から国民の生命・財産を守るため、計画的な治山事業の実施に取り組んでいます。また、自然景観への配慮や間伐材を積極的に使用した工法を推進しています。



阿蘇くじゅう国立公園内の荒廃溪流において自然景観に配慮し、自然石を貼り付けた型枠を使用した溪間工を実施しています。



災害により崩壊した山腹斜面に、間伐材等を積極的に使用した木柵工・筋工及び木製水路工を施工した山腹工を実施しています。

### (3) 林産物の供給に関する事項

#### ① 低コスト林業の実現と木材の安定供給

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林の整備とともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「安定供給システム販売」を推進しています。



## ② 流域管理システムの推進

国有林と民有林が連携し、より効率的な森林整備を推進します。

林業技術向上のための現地検討会を実施しています。



国有林内において、林業事業者等も参加して、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムに関する現地検討会を行い、オペレーター育成に取り組んでいます。

民有林と連携した効率的な森林整備を推進しています。



民有林と国有林が隣接する大分県の日田地域の森林に「森林共同施業団地」を設定し、関係者が連携して路網整備や森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や木材の安定供給を目指しています。

## (4) 国有林野の活用に関する事項

### レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、多くの方々に親しまれています。

種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	鳴子沢	老齢の針広混交天然林の新緑と紅葉、さらには鳴子川の渓谷美、なかでも振動の滝の望見は素晴らしく風致観賞の散策者等に親しまれています。	191
風致探勝林	九重	阿蘇くじゅう国立公園の要所となっており、山麓から星生山、三俣山等の頂上にかけては、ミヤマキリシマ等の高山植物群生地があり、その景観は四季それぞれの変化に富み、また雄大な眺望もできることから多くの観光客や登山者等に親しまれています。	47



振動の滝(鳴子沢風景林)



泉水山から望む九重風致探勝林

# レクリエーションの森の位置



## (5) 国民参加による森林の整備に関する事項

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

木の文化を支える森づくり活動を推進します。

「木うその森」



太宰府木うそ保存会、太宰府市、太宰府市商工会と協定を締結し、太宰府天満宮の伝統行事である鸕替えで使用されるコシアブラの刈り出しや除伐作業、原木採取に取り組んでいます。

民有林と協調した水源の森林づくりや山村と都市部の交流の場を提供します。

「ひかりと風の森」

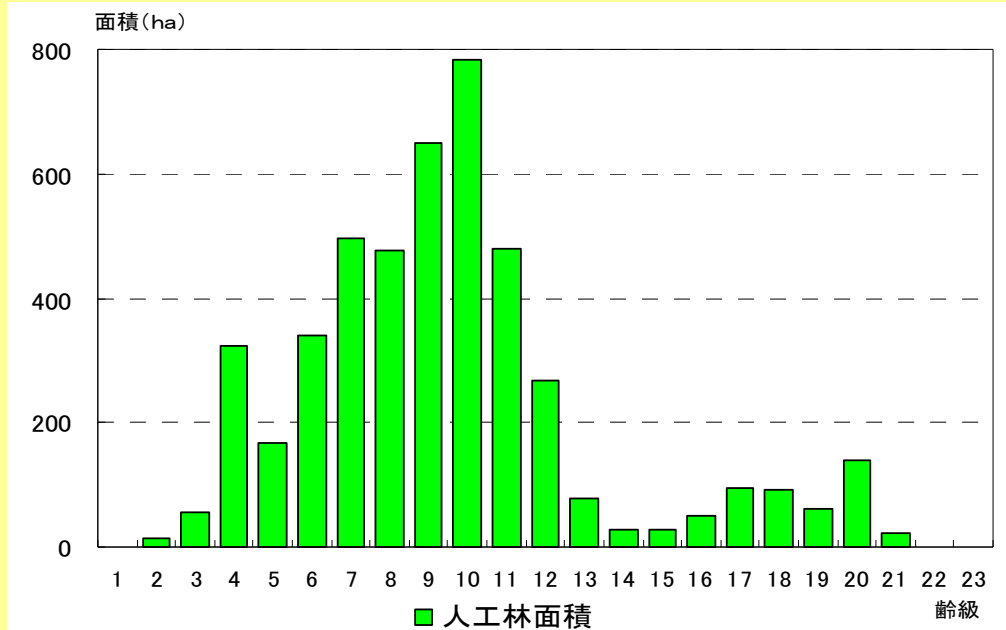


国有林と市有林の一体的な森林づくりを通じて、ボランティア等による森林整備活動や森林・林業体験活動のためのフィールドを提供しています。

## 2 次期計画の検討方向

### (1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高め、ていく必要があります。
- ・将来的にも均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。
- ・次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は81%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。



- ・野生鳥獣による森林被害は、シカによる被害を中心に深刻化していることから、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等との連携を図りつつ効率かつ効果的な技術開発を行うとともに捕獲や防除活動等を引き続き推進していく必要があります。
- ・本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に対応していく必要があります。
- ・本計画区には森林共同施業団地を設定しており、林業の成長産業化の実現に貢献するため、民有林と国有林が連携し、効果的な路網の整備や森林整備を推進する必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

## (2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進する方向です。
- ・野生鳥獣による森林被害について、地域の実情に応じた捕獲や防除活動を引き続き推進します。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「ふれあいの森」等の制度を活用して、国民参加による森林づくりを推進する方向です。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・森林の持つ多面的機能の維持向上に向け、森林共同施業団地内において民有林と国有林が連携・協力して路網の整備や森林整備を推進する方向です。
- ・山地災害防止のため緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地について、民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組み早期の復旧を図る方向です。